



2013.9.7. No.1161.

ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」, メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/~kyoukita/>

高齢者見守り・緊急通報システム



↑ 本体

↑ ペンダント部分

◎「レポートを読みました」と、お向いあわせのお電話を何人もの方から、いただいています。

赤羽台団地では、8月31日の「報告会」で、大きな話題に

◎ この制度は、かなり前からありましたが、2年前に、**カギの預かり**についての変更などがおこなわれました。現在のしくみは、

北区が警備会社に委託して、カギの保管、安全確認のための電話による声かけ、緊急時の対応として、救急出動要請などを行っています。

◎ 赤羽台団地では、利用している方からの体験談もあって、関心がさらに高まり、身近なこととして受けとめていただきました。<問合せ> 3905-0970 まで



9/8日
ぶどう狩り、
まだ、向に合います。

母が畑で
育てたものと
暑さがかんし
やわらびど、
水やりも
できる。
よかったです！

緑色の
リンゴ
ホシカン

旧北園小について
区が住民説明会
8/29 赤北ふれあ館



北園小の
全景です。
(永井朋子区議)

説明会には約70人、会場はほい。しかし、区の説明と対応は不十分だった。

◆所在地 北区赤羽北3-6-1
◆計画施設 特別養護老人ホーム(160床)、認可保育園(100名)、区営シルバーピア(75戸)
平成24年度有給施設活用計画をもとに検討し、上記3施設を、誘致また建設するという、地域住民への初めての公式な説明会となりました。説明会では、計画施設と今後のスケジュールが区の担当者から説明され、その後質疑応答になりました。

会場から出された主なご意見として

- 今まで、沢山の人が北園小学校を利用して、活動してきたその事を踏まえれば、遊休施設とは言えないのではないかと
 - この地域周辺では、桐ヶ丘団地など周辺施設の建て替え計画が進行している、シルバーピアや特養ホームなど、東京都と連携し、その計画に盛り込むことができたのではないかと、積極的に北区から東京都への働きかけをするなど区としての努力のプロセスが見えない。地域などの全体像を見ての配置計画だったのか説明を求めたい。
 - 北園クラブは常時200名前後の利用者数と聞いている、その方たちは現在会場さがしに苦労をしている。シルバーピアの中に、区民解放室設置を働きかけてほしい。
 - この施設はがけ地に建設される、全体の地盤の安全面はどうか
 - まだまだ使い勝手があるものを撤去するのはどうか？
桐ヶ丘団地に子育て世代の入居を促進すれば、学校もまだまだ使える。どうにか残して欲しい。
 - この計画について、決まったからお知らせするのではなく、青写真のうちに住民に提案し、住民と協議しながらつくって行くそういう場が欲しい。
 - 区内特養ホームの待機者は900人と聞いている。この計画も入れていったい何年待ったら「待機老人」は解消できるのか160床の位置づけなど長期ビジョンの区側の見解が欲しい。
- その他、シルバーピアと特養ホームの違い、建設時の機材搬入経路の安全性、プロジェクトなどを使いわかりやすい説明会を望む声などがありました。

◆区の見解として(主だったもの)
区営住宅の管理上の問題として、シルバーピアへの区民解放室設置は難しい。特養ホームでの位置づけは、地域住民と入所者の方の交流スペースという意味あいでは可能かと。
体育館を残すことに関しては、施設の面積を考えたときに残しての整備は難しい。シルバーピアは高くても5階程度の建物を予定している。特養ホームと保育園は設置法人が決定し、その法人からの提案をうけての計画となるため詳細はまだわからない、区が定期借地権で土地を提供し、その法人が都や区の補助金を活用しながら施設を建設運営して行くスタイル。

① 才3定例区議会に提案される議案(平成24年決算、条例改正、補正予算、契約など)の議員への説明が、2日**全員協議会**として、本会議場でおこなわれました。

傍聴された方も、ありました。私は、補正予算案として提案された、**赤羽全館耐震改修**について、**小学校の擁壁・健全度調査**(滝野川カワ) **桐郷小の教室増築**などを質問しました。

校舎北側(現在築山とビオトープがある)に70坪だ4教室2階建て増築するための設計費と

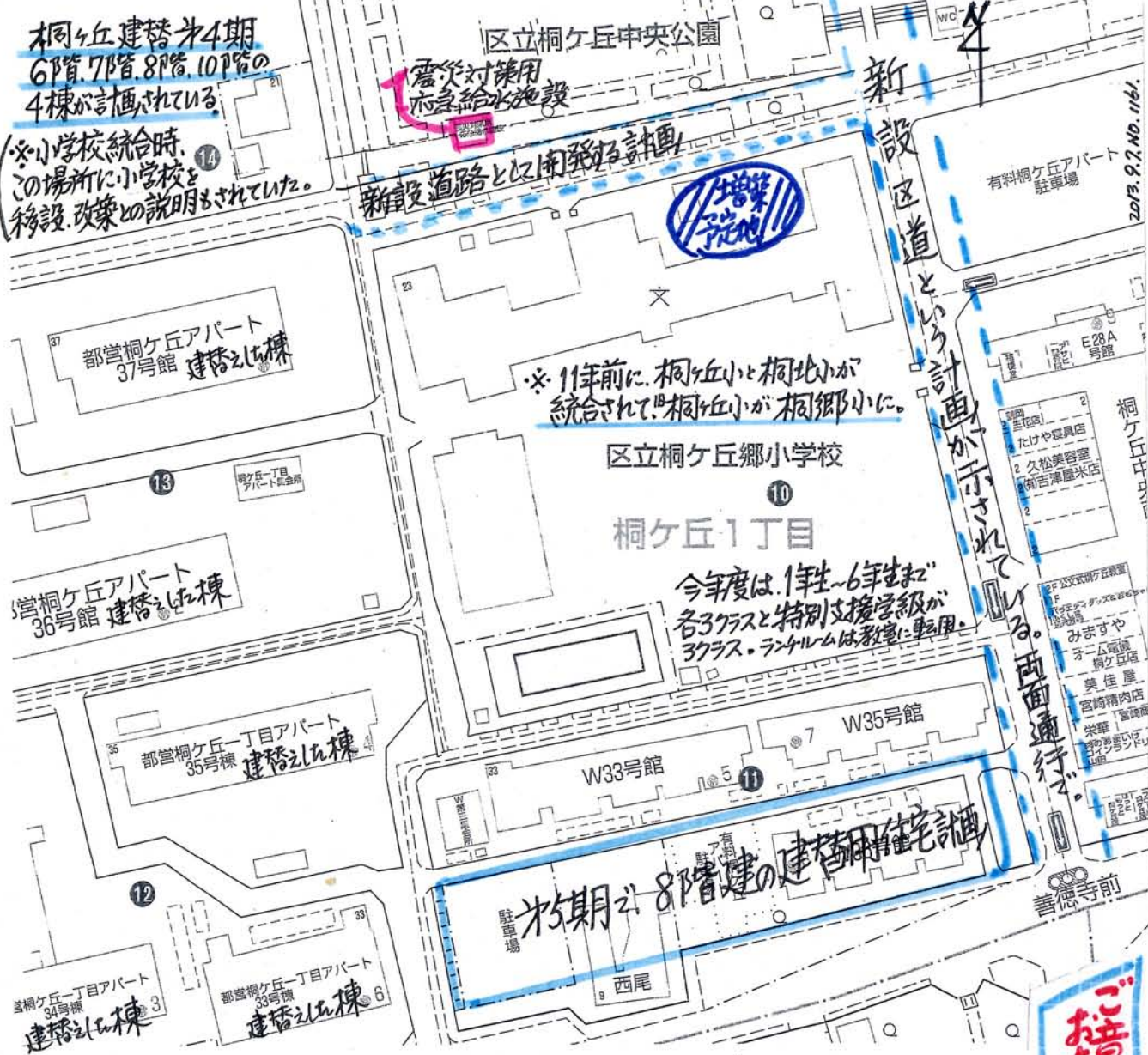
説明を受けて、私は、子どもたちの現状について、いくつかの質問をおこないながら、教育委員会には良好な環境を整えるべきと求めました。

桐小と桐北小との統合後、195人から542人(424)35学級の編成も加わり、3倍の学級数に

① 統合された桐郷小には、学区区域変更として、赤羽北3丁目東京メタの児童が通学することになり、この11年の間に、3倍の教室が必要となりました。各学年とも3クラスづつ、特別支援学級3クラスを合わせると、普通教室が足りません。

② この間、6年生は校舎本体(3F)の上に、プレハブ増設された教室(オカグラともいわれる建て方)で、学んでいます。増設時期は昭和49年(1974年)、39年前のもので、数年前までは、普通教室にクーラー設置はされていませんから、多くの6年生は劣悪な環境におかれてきました。

北区と教育委員会は、少子高齢化がすすみ、児童数は増えないと言いはって、小学校の統合をすすめました。さらに、都営桐ヶ丘団地の再生、建替え計画地にある桐川なら、それにあわせて、代替地を確保し、学校改築できるとの



説明で、学校関係者や地域の合意をとりつけてきた経過があります。私は、このことも明らかにしながら、都との協議で代替地を確保し、良好な教育環境の中

で、子どもたちがのびのびと学べるようにすべきと、強く求めました。もちろん、緊急にせまられている教室増設は必要ですが、根本的な問題を先送りすることは、その責任が向われることとなります。

ご意見もお待ちしております。